

記入日: 年 月 日

下記の該当する項目の□に✓を記入してください。

また、チェック項目以外の配慮事項があれば「その他」の欄に記入してください。

□ 駅前景観エリア				
色彩	建築物の壁面・ 工作物の外装	基調色	明 度	□ 中～高明度色としている。
			彩 度	□ 低彩度色としている。
		アクセントカラー	面 積	□ 各立面の1/5以下としている。
			位 置	□ 建築物の2階以下に設置している。
	建築物の屋根	明 度	□ 低～中明度色としている。	
		彩 度	□ 低～中彩度色としている。	
・色彩トーン(色彩の明度及び彩度の低・中・高)は「彩りシグナル」【北戸田駅周辺景観づくり推進地区について(解説)P.6】を参照願います。				
広告物	一般基準	□	地色(※1)の色彩は彩度を6以下としている。	
		□	独立広告物の高さは4m以下としている。	
	種類別基準	□	屋上広告物は設置していない。	
		□	突出広告物は建物の2階以下に設置している。	
		□	壁面広告物(※2)・立看板・のぼり旗等の総面積は、各立面の1/10以下としている。	
		□	1階の窓の内側に設置するもの(※3)は面積を設置する開口部の1/2以下としている。	
		□	2階以上の窓の内側に設置するもの(※3)は面積を設置する開口部の1/3以下としている。	
		□	デジタルサイネージ(※4)は、面積を5㎡以下としている。	
		□	デジタルサイネージは、建築物の2階以下に設置している。	
		□	過剰なグラフィックやフィギア広告は設置していない。	
		□	激しく動光・点滅する照明を伴う看板などは設置していない。	
		※1 表示面積の1/3以上を占める色彩		
※2 窓面に設置するものを含む				
※3 建築物の窓その他の開口部(建築物の内部を見通すことができる壁面を含む)に設けられた窓ガラス、ガラス扉その他これらに類するものの内側の面に直接描き、又は内側に設置して、常時又は一定の期間継続して屋外の公衆に表示するもの				
※4 屋外や店頭などに設置された液晶ディスプレイなどの映像表示装置で、屋外の公衆に静止画や動画により案内情報や広告などを表示するもの				
その他				

□ 駅前周辺景観エリア 北					
□ 色彩	建築物の壁面・ 工作物の外装	基調色	明 度	<input type="checkbox"/>	中～高明度色としている。
			彩 度	<input type="checkbox"/>	低彩度色としている。
	アクセント カラー	面 積	<input type="checkbox"/>	各立面の1/10以下としている。	
		位 置	<input type="checkbox"/>	建築物の1階のみに設置している。	
	建築物の屋根	明 度	<input type="checkbox"/>	低～中明度色としている。	
		彩 度	<input type="checkbox"/>	低～中彩度色としている。	
・色彩トーン(色彩の明度及び彩度の低・中・高)は「彩りシグナル」【北戸田駅周辺景観づくり推進地区について(解説)P.6】を参照願います。					
□ 広告物	一 般 基 準	<input type="checkbox"/>	広告物は、自家用としている。		
		<input type="checkbox"/>	地色(※1)の色彩は彩度を6以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	独立広告物の高さは4m以下としている。		
	種 類 別 基 準	<input type="checkbox"/>	屋上広告物は設置していない。		
		<input type="checkbox"/>	突出広告物は建物の2階以下に設置している。		
		<input type="checkbox"/>	壁面広告物(※2)・立看板・のぼり旗等の総面積は、各立面積の1/20以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	壁面広告物・立看板・のぼり旗等は、建築物の2階以下に設置している。		
		<input type="checkbox"/>	1階の窓の内側に設置するもの(※3)は面積を設置する開口部の1/2以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	2階以上の窓の内側に設置するもの(※3)は面積を設置する開口部の1/3以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	デジタルサイネージ(※4)は、面積を3㎡以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	デジタルサイネージは建物の2階以下に設置している。		
		<input type="checkbox"/>	過剰なグラフィックやフィギア広告は設置していない。		
		<input type="checkbox"/>	激しく動光・点滅する照明を伴う看板などは設置していない。		
		※1 表示面積の1/3以上を占める色彩 ※2 窓面に設置するものを含む ※3 建築物の窓その他の開口部(建築物の内部を見通すことができる壁面を含む)に設けられた窓ガラス、ガラス扉その他これらに類するものの内側の面に直接描き、又は内側に設置して、常時又は一定の期間継続して屋外の公衆に表示するもの ※4 屋外や店頭などに設置された液晶ディスプレイなどの映像表示装置で、屋外の公衆に静止画や動画により案内情報や広告などを表示するもの			
□ その他					

□ 駅前周辺景観エリア 南					
□ 色彩	建築物の壁面・ 工作物の外装	基調色	色相	<input type="checkbox"/>	色相は、7.5YR～2.5Yとしている。
			明度	<input type="checkbox"/>	中～高明度色としている。
			彩度	<input type="checkbox"/>	彩度色は、1以下としている。
		アクセントカラー	面積	<input type="checkbox"/>	各立面の1/10以下としている。
			位置	<input type="checkbox"/>	建築物の1階のみに設置している。
	建築物の屋根	色相	<input type="checkbox"/>	色相は、5YR～5Yとしている。	
		明度	<input type="checkbox"/>	低～中明度色としている。	
		彩度	<input type="checkbox"/>	低彩度色としている。	
	・色彩トーン(色彩の明度及び彩度の低・中・高)は「彩リシグナル」【北戸田駅周辺景観づくり推進地区について(解説)P.6】を参照願います。				
□ 広告物	一般基準	<input type="checkbox"/>	広告物は、自家用としている。		
		<input type="checkbox"/>	地色(※1)の色彩は彩度を6以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	独立広告物の高さは4m以下としている。		
	種類別基準	<input type="checkbox"/>	屋上広告物は設置していない。		
		<input type="checkbox"/>	突出広告物は建物の2階以下に設置している。		
		<input type="checkbox"/>	壁面広告物(※2)・立看板・のぼり旗等の総面積は、各立面積の1/20以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	壁面広告物・立看板・のぼり旗等は、建物の2階以下に設置している。		
		<input type="checkbox"/>	1階の窓の内側に設置するもの(※3)は面積を設置する開口部の1/2以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	2階以上の窓の内側に設置するもの(※3)は面積を設置する開口部の1/3以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	デジタルサイネージ(※4)は、面積を3㎡以下としている。		
		<input type="checkbox"/>	デジタルサイネージは建物の2階以下に設置している。		
		<input type="checkbox"/>	過剰なグラフィックやフィギア広告は設置していない。		
		<input type="checkbox"/>	激しく動光・点滅する照明を伴う看板などは設置していない。		
		※1 表示面積の1/3以上を占める色彩 ※2 窓面に設置するものを含む ※3 建築物の窓その他の開口部(建築物の内部を見通すことができる壁面を含む)に設けられた窓ガラス、ガラス扉その他これらに類するものの内側の面に直接描き、又は内側に設置して、常時又は一定の期間継続して屋外の公衆に表示するもの ※4 屋外や店頭などに設置された液晶ディスプレイなどの映像表示装置で、屋外の公衆に静止画や動画により案内情報や広告などを表示するもの			
□ その他					

記入日: 年 月 日

下記の該当する項目の口に✓を記入してください。

また、口で示したチェック項目以外の配慮事項があれば「その他」の欄に記入してください。

基本原則		配慮事項
場所	土地の記憶が継承された潤いと癒しの空間づくり	<p>●埼京線からはまちを俯瞰することができ、まちの中からは埼京線が見える。電車を意識しつつ、電車を降りてみたいと思える風景をつくることがまちの魅力を高める。</p> <p><input type="checkbox"/> 埼京線からの眺めを意識した屋根のデザインに配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 埼京線の電車が見える窓がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 埼京線からの眺めを意識した屋上設備の陰蔽をしている。</p>
		<p>●駅前の人々を迎え入れるまちの玄関である。玄関は人々の印象に残る顔としてまちのイメージを形成し、アイデンティティを育む。</p> <p><input type="checkbox"/> まちの玄関の顔となる印象的なファサードのデザインに配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 記憶に残る公共(的)空間のデザインに配慮している。</p>
出来事	人々が集い楽しめる新しい生活拠点のにぎわいづくり	<p>●表通りから一本入った路地裏はほっとできる空間である。路地空間が新しいまちに親しみを感じさせる界隈を生み出す。</p> <p><input type="checkbox"/> 視線の先を閉じた通り(折れ曲がった通路、カーブした通り)などで、ほっとできる路地空間に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 程よい広さの通路に配慮している。</p>
		<p>●この地にはかつて人の背丈を超える芦原(芦原)とのかな田畑が広がっていた。その記憶を引き継いでいくことで風景に深みが生まれる。</p> <p><input type="checkbox"/> 芦原(葦原)と田畑の記憶に包みこまれるイメージの囲まれた空間に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 芦原(葦原)と田畑の記憶を感じるような土の広場に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の歴史や記憶を伝えるしつらえに配慮している。</p>
出来事	人々が集い楽しめる新しい生活拠点のにぎわいづくり	<p>●駅前には多様な人々が行き交う空間である。自分らしさを表現できるフィールドがあると駅前が活気づく。</p> <p><input type="checkbox"/> 自分らしさを表現できるパフォーマンスをする駅前空間に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 駅前空間に作品を展示できるギャラリーがある。</p> <p><input type="checkbox"/> さまざまな市民活動に使える集会スペースに配慮している。</p>
		<p>●通りとの関係を意識すること。通りから店の中の気配を、また店の中から通りの気配を感じることで敷地と通りとの親密感が生まれる。</p> <p><input type="checkbox"/> 気配を感じるウインドウから通りとの関係を意識できる開口部や透過性のある壁面に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 通りに面したテラス席がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 路上の駐車や駐輪を防ぐ駐車・駐輪スペースに配慮している。</p>
出来事	人々が集い楽しめる新しい生活拠点のにぎわいづくり	<p>●誰もが快適に過ごせるまちをつくること。大人がまちのなかで落ち着いてくつろげる場所は意識してつくりたいと見過ごされがちである。</p> <p><input type="checkbox"/> 通りを眺められる2階テラス席がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 開放されたベンチなどから大人が落ち着ける場所に配慮している。</p>
		<p>●かつて、まちかどの井戸端は人々の交流の場でもあった。まちなかのたまり空間は人々の出会いを生む。</p> <p><input type="checkbox"/> 敷地内のたまり空間の創出に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> まちかどのたまり空間の創出に配慮している。</p>

基本原則		配慮事項
出来事	人々が集い楽しめる新しい生活拠点のにぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通りは通過するだけの空間ではない。程よい木陰は夏の暑い日差しを避けるだけでなく、立ち止まってみたくなる。</li> <li>□緑陰のある高木、シンボリックな高木など、立ち止まってみたくなる木陰空間に配慮している。</li> <li>●人々の活動は待ち合わせから始まる。待ち合わせできる目印となる場所は物語が生まれる予感を感じさせる。</li> <li>□交差点に面する敷地の特徴づけに配慮している。</li> <li>□特徴のあるアートや造形物などの創出に配慮している。</li> <li>●ペットは家族の一員である。ペットと一緒に出かけることが楽しくなるまちは、暮らしを豊かにする。</li> <li>□ペットをつないでおける店先・ペットを連れて入れる店・ペットのエリアが区分された店内など、ペットと散歩しやすい空間に配慮している。</li> <li>●夜も安心して歩けること。また、場所ごとの性格に応じた明かりで夜にも出かけたくなるまちを演出する。</li> <li>□夜の街を照らす明かりは、安心できる明るさに配慮している。</li> <li>□表通りの華やかさを演出する明かりに配慮している。</li> <li>□路地裏的な魅力を演出する明かりに配慮している。</li> </ul>
調和	さわやかで清涼感のある美しいまち並みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●統一は安定性を、変化は多様性を生む。そろえることが調和の基本であるが、小さく違えることで単調さを防ぐことができる。</li> <li>□スカイラインや壁面の連続性に配慮している。</li> <li>□少しずつ違えた細部のデザインとしている。</li> <li>●目立たせたいもの(図)を目立たせ、目立たせたくないもの(地)を目立たせないこと。背景を整理することで目立たせたいものがすっきりと引き立つ。</li> <li>□視線を誘導する要素を配した建物正面に配慮している。</li> <li>□設備類やサービスヤードの陰蔽に配慮している。</li> <li>□鉄塔や高架のイメージを緩和する高木に配慮している。</li> <li>●新しいまちは直線が多くなりがちである。やわらかな曲線は無機質なまちを有機的で人間的なものに変えてくれる。</li> <li>□曲線を取り入れた建物正面のデザインに配慮している。</li> <li>□建物コーナー部の曲線に配慮している。</li> <li>□曲線の舗装パターンに配慮している。</li> <li>●屋根と空の境界線は、通りから見える空の形を切り取る。通りから澄んだ空が広く見えると清々しい気分になる。</li> <li>□通りに向かって低くなる屋根などで屋根と空の境界線に配慮している。</li> <li>□連続的に変化するスカイラインに配慮している。</li> <li>□長大な建物の分節化に配慮している。</li> <li>●立面の緑は目に入りやすい。平面の緑だけでなく、立面や高い位置の緑など立体的な配置によって視覚的な効果を高めることができる。</li> <li>□屋上の緑化、壁面緑化などで視覚的な効果を高める配慮をしている。</li> <li>□窓辺の花台、緑が見えるベランダなどで視覚的な効果を高める配慮をしている。</li> <li>●つくり込みすぎないこと。時間とともに成熟していくための余白を残すことが新しいまちとしての発展の可能性を感じさせる。</li> <li>□まちとしての発展性を感じさせる増改築しやすい配置に配慮している。</li> </ul>

基本原則		配慮事項
調和	さわやかで清涼感のある 美しいまち並みづくり	<input type="checkbox"/> 時間とともに成熟していくための余白を残すような成長する植栽に配慮している。 <input type="checkbox"/> 時間の経過により味わいを深める素材に配慮している。 <b>●</b> 新しいまちのさわやかさを感じさせる「青春の青」と、心を和ませる「癒しの緑」はまちのイメージから導かれるシンボルカラーである。 <input type="checkbox"/> 青や緑の日よけテント、パラソル、フラッグなどにより癒しの空間づくりに配慮している。 <input type="checkbox"/> 水を使った演出に配慮している。 <input type="checkbox"/> 身近に感じられる植栽を用いた空間に配慮している。 <b>●</b> 業種によって誰もがイメージする店構えがある。イメージに近い店構えは私たちに安心感を与えてくれる。 <input type="checkbox"/> 見慣れた色づかい(慣例色)などにより、業種にふさわしい店構えに配慮している。 <input type="checkbox"/> 商品やサービスをイメージさせる外観デザインに配慮している。
その他		